



留学のきっかけは？

オーストラリアに来る3か月前までは、ワーキングホリデーという言葉は知っていましたが、制度について詳しく知らず、自分には縁がないと思っていたので、実際に海外で生活するとは思っていませんでした。私は日本で看護師をしていましたが、30歳を目前にして海外で1年間生活するのも良いかなと思い、ワーキングホリデーについて調べてみると、思っていたよりも簡単に行けるんだなあという印象を受けました。英語は高校以来ろくに勉強していないし、長年働いてきた職場を退職するというリスクはありましたが、環境を変えて何かに挑戦してみることは自分の将来にプラスになると思い、病棟の上司に相談すると、背中を押してくれたので一気に海外生活をする決意が強くなり、3か月後にはシドニー空港に着いていました。

到着後の様子

エージェントとホストファミリーの助けと良き仲間に出会えたことでオーストラリア生活のスタートはスムーズでした。同入国した日本人数人でシドニー観光したことは一生の思い出です。ホームステイには1か月滞在しました。Dee Whyというビーチが近い場所で、街並みもきれいで、マラソンが趣味な私にとっては絶好のランニングコースで、1か月間毎朝走ってから学校に行きました。ホストマザーがDee Whyマラソンを申し込んでくれたので出場し、好成績を出すことが出来ました。また、毎週土曜日に近くの公園に子供たちのラグビーの試合を見に行き、BBQをごちそうになったり、時間があるときは近くの図書館で勉強して充実した日々を過ごしました。



学校スタート!

着いて一週間後には Academies Australasia の語学学校 (Academy of English) に通い始めました。ここを選んだ理由は、日本が一人一人もなく日本語のない環境で英語が学べること、授業についてのマニュアルが細かく決められているというエージェントのスタッフからの勧めがあったからです。またいくつかの学校見学の説明を聞いて毎日自分で選ぶ選択授業は必要ないと思ったのでそれも理由のひとつです。

実際に入ってみると、生徒はみんなフレンドリーでうまく会話ができない私にも話しかけてきてくれ、休憩や昼食もみんなと一緒に楽しく過ごせました。同じクラスだったイタリア人のマリナとは年が近く考え方も似ていたせいか、ほとんどの時間を一緒に過ごしました。マリナのルームメイトと一緒に部屋で持ち寄りパーティーをしたり、みんなでバーに行ったりと、週末はほとんど予定で埋まっていました。彼女は私よりも早く学校を終えてパースに行ってしまいましたが、オーストラリアにいるうちに必ず会いに行く予定です。

生徒の国籍や年齢層はさまざまで、それぞれの国の話を聞くことができました。クラスの中にムードメーカーやおとなしい人がいる雰囲気は、高校時代を思い出すようでした。日本に興味を持ってきている人が多く、普段あまり話さない人とアニメの話で盛り上がり、日本に旅行に行ったという人にも何人か出会いました。お菓子のキットカットが好きで毎日食べている人がいることも面白かったです。授業は教科書にそって先生がとても解りやすい授業をするので、解らなかつた文法が解るようになりました。同時に教科書のボキャブラリー、リーディングやそこからディスカッションもやるのでとても刺激になりました。

毎週テストがあり見返すことが出来て効率もいいし、先生が評価するので自分のレベルがわかりモチベーションも上がります。私はできる範囲で予習復習をして、その他教科書のDVDをひたすら聞いて勉強しました。日本人はグラマーが得意で会話が苦手といいますが、グラマーを学びながらそれを使って正しく会話出来るよう練習できるのは学校の特権だと思います。授業中は先生の説明や話をひたすら聞いて口に出す習慣をつけるとより良いと思います。先生はすごく一生懸命授業してくれて話も面白く興味も持ったのでとても良かったです。

他の学校に通っている人の話を聞くと、日本人がクラスに何人かいて日本語で話をしてしまうのでせっかくの機会なのに練習にならないし、授業に積極的に参加することにも気を使ってしまうという話を多く聞きました。不安でも日本人が少ないほうが良いと思いました。また教科書に沿った授業はなにをやっているのかが解り、そこから会話の表現も吸収しやすいのでそれについても良いと言われました。個人的にも積極的に授業に参加できたと思うし、授業中に退屈になることはほとんどありませんでした。

アパートの近くのコミュニティーセンターで行われる英会話レッスンに学校以外の時間に参加しました。その先生はボランティアで教えてくれていましたが、時々カフェやバーと一緒に行きました。センターの人は皆暖かく色々話してくれ、地元の人と交流できるいい機会でした。



学校が終わってみて・・

学校はマックスの4か月間行きましたが、終わってみるとすごく速かったように感じます。終わったら話せるようになっているかというそうではなく、続けて勉強し続ける必要があります。ただ4か月間努力すれば確実に自分の中で積み重ねられているものがあります。英語の目標は人それぞれだと思いますが、海外で生活していくうえで自然に話せるようになりたいというのは皆同じだと思います。学校では英文一つの中からも表現やボキャブラリーを学べるので、とにかく4か月間無駄にせず授業中に学ぶ姿勢が大切だと思います

今現時点では学校を卒業して、これからのことを考えなくてはなりませんが、オーストラリアに来る前は一年間楽しんで帰ってこようという気持ちでした。しかし学校に行って色んな人に会ううちに、英語の勉強をできる限り頑張って多くの経験をしたいと考えるようになりました。これからセカンドビザを取るためにファームステイに行ってこようと思っています。もっと話せるようになりたいという気持ちが強いので、目標をもって頑張りたいと思います。セカンドビザを取ったら合計で2年滞在するとして、その後はどうするのか正直解りませんが、スチューデントビザに変えてオーストラリアで勉強し続けるかもしれないし、日本に帰って看護師に戻るかもしれません。一年間はあっというまですが、日々の過ごし方によって結果は大きく変わってくると思います。努力と経験は必ず今後生きると思うので、今何をすればいいか考え前向きに生活していきたいと思います。

ホームステイが終わってからはピアモントという、ダーリングハーバー近くの静かな場所のアパートに住んでいましたが、学校を終えシティから少し離れた郊外に引っ越すことにしました。ピアモントでは韓国人のルームメイトがよく韓国料理を作ってくれ、休日はビーチや公園に行ったりして楽しく生活しました。しかしファームに行く前に仕事もしたいので、環境を変えて新たな気持ちでスタートしたいと思い、住居を変えることにしました。新居は長年住んでいる英語ペラペラな日本人と韓国人が住んでいますが、家では英語で話してくれると約束してくれたので、真剣に英語環境の中で勉強していきたいと思います。新しい環境に不安と期待がありますが、何が起ころうと対応していけるような人間に成長できればと思います。

